

受賞おめでとう ございます

- 法務大臣表彰・保護司
前田 由紀子さん（南有馬町）
- 平成28年度
優良PTA文部科学大臣表彰
大野木場小学校PTA



冬の味覚 車エビ出荷

南島原市の代表的な冬の味覚「車エビ」の出荷が11月から始まっています。

車エビは稚エビから1年かけて育てるもので、例年、歳暮や年始の贈答用として県内外に生きたままお届けしています。

皆さんぜひご賞味ください。



人権紙ふうせんに 思いを乗せて

12月の人権週間に合わせて、布津小、飯野小、堂崎小で人権集会を開催し、こどもたちは人権の大切さを学びました。

なかでも、布津小からいじめや差別のない社会を願ってメッセージとひまわりの種を付けて飛ばした人権紙ふうせんは、後日、宮崎県の男性のもとに届き、「太陽に向かって咲くひまわりのように、みなさんの将来が大きな花になることを願っています」と思いのこもったお礼の手紙が届きました。



特産品に舌鼓 深江町で産業まつり

11月13日、今回で33回目となる「深江町産業まつり」が開催され、目玉の車エビや長崎和牛などの試食や特産品が会場に並びました。

中でも郷土料理「ろくべえ」の大食い日本一決定戦では、「ろくべえ」を口に掻き込む参加者の周りに大勢の人だかりができていました。



始発駅かづさより夢を乗せて

11月20日、島鉄の始発駅だった旧加津佐駅周辺で「かづさ・手づくりふれあい祭り」が開催されました。餅つきや魚のつかみ取り、綱引き大会、自治会対抗玉入れ大会など、地域の皆さんの手づくりの催しに、会場は大盛り上がりでした。



“いい夫婦”の日に金婚式

11月22日の「いい夫婦の日」に、南島原市金婚式を開催しました。今回は昭和41年に婚姻されたご夫婦が対象となり、市内100組のうち57組のご夫婦が式に出席しました。

表彰者を代表して苑田新介さん・豊子さんご夫婦が「結婚生活50年を迎えることができたのも市や地域の支えがあったこと。これからも、市のために微力でも役立つことができたら幸いです」と代表して謝辞を述べました。

金婚式を迎えられた皆さん、これからも夫婦仲良く、お元気に過ごしてください。

Focus in 南島原 まちの話題



九州オルレ1周年イベントにぎわう

平成27年11月に開設した九州オルレ「南島原コース」は開設以来、約4,000人の皆さんに楽しんでいただいています。

11月23日、コース開設1周年を記念して、九州オルレ「南島原コース」秋のフェアを開催し、約250人が参加しました。

今回は「南島原オルレバーガー」が初登場、コース上ではミカンや名物パンなどの特産品やコーヒーのおもてなしを準備し、参加者は南島原市の味覚を満喫しながら歩きました。ゴール地点では島原手延そうめんをふるまい、参加者はおいしそうに口に頬張っていました。



目指せ未来の芸術家・科学者

11月20日、「第10回南島原市北村西望賞教育美術展・古野賞科学技術展」の表彰式を行いました。

両展は、平和祈念像の制作者で本市の名誉市民の故北村西望氏、同じく名誉市民で「世界初の魚群探知機の実用化」として有名な古野清賢氏・故古野清孝氏の功績をたたえ、小・中学校の美術教育と科学技術教育の振興を目的に開催しています。

受賞者の皆さん、おめでとうございます。